

# CFA NEWSLETTER

## グローバル金融アナリストの情報誌

No. 051 2020年4月号

## CONTENTS

---

### Topics

---

- CFA協会理事らとのディナーと当局へのアウトリーチ 2020.2.10-12
- 職業倫理規範の習得のための講義について
- 設立20周年記念イヤーエンド・パーティを開催
- CFA協会リサーチ・チャレンジ: アジア太平洋地区大会の結果報告  
— 一橋大学チーム、史上初のウェブ開催となった地区大会セミファイナルで健闘するも敗退—

### CFAJ Update

---

- 活動報告

### CFA News & Trend

---

- CFA協会ブログ No463より

LIBOR: LIBORに代わる指標金利のほうがよい

LIBOR: Like I Better Obtain (a) Replacement

- 
- 今後の主な予定
  - 事務局より

本ニュースレターでは、世界の公正な投資市場をリードする専門資格CFA®（CFA協会認定証券アナリスト）の認定・推進機関であるCFA協会の活動から、情報をお届けいたします。取材の参考資料としてご活用いただくことができれば幸いです。

CFA協会ならびに日本CFA協会の詳細はホームページをご参照ください。

■ CFA協会 / <http://www.cfainstitute.org>

■ 一般社団法人日本CFA協会 / <http://www.cfasociety.org/japan>

# CFA協会理事らとのディナーと当局へのアウトリーチ

2020. 2. 10-12

CFA協会 (CFA Institute) が四半期ごとに米国内と世界各地で開催している理事会、すなわちBoard of Governors (以下、BoG)の会合が8年ぶりに東京で開催されました。

2月10日に東京のパレスホテルで開催されたディナーは、BoGメンバーと当協会理事ら二十数名の他、金融庁長官ら当局をはじめとして、日本CFA協会のコーポレート・スポンサー代表者や、主要業界団体幹部などもお呼びした盛大なものでした。



冒頭、主賓として招かれた遠藤金融庁長官からの挨拶および都庁の中曽フィンシティ・トーキョー代表理事による東京都の取り組み紹介と続き、CFA協会の73年の歴史で初の女性CEOであるMargaret Franklin氏からのスピーチ及び当協会初の女性会長である宝田氏の乾杯の発声で華やかに始まりました。



分けても我が国の金融庁長官が二名の女性会長に挟まれている様子は、女性の更なる活躍が期待される投資運用業界にあって、将来を先取りした姿を示唆する光景でした。

2月12日にCFA協会の幹部4人と我が国の関係当局に赴いて意見交換を行ったアウトリーチでは、CFA協会のCEO、Margaret Franklin氏、BoG議長のDiane Nordin氏、同副議長のDaniel Gamba氏、APAC地域マネージングディレクターのNick Pollard氏の一行に宝田会長、若干の理事と事務局長が加わりました。

日本証券アナリスト協会(SAAJ) 幹部らとの朝食ミーティングを皮切りに、金融庁(FSA)、GPIF、東京都、環境庁への訪問を敢行し、普段アプローチできない官公庁や団体に対してCFA協会の紹介をし、意見交換をすることができました。

FSAIには一行に宝田会長と岡崎理事が参加し、資産運用高度化室の方々4名とお会いしました。先方としては日本の運用業界の底上げを考えていて、倫理や継続教育の重要性や、日本の運用会社の経営が運用能力よりも販売にフォーカスしてきたのではないかという問題意識の面で、CFA協会や日本CFA協会と共通する「顧客である投資家を第一に考える人材育成の重要性」についての認識をお持ちで、今後は是非協力していきたいと

いう前向きなトーンメッセージをいただきました。

その後のGPIFとのミーティングには宝田会長と小澤理事が参加し、ロンドンで英国CFA協会が実施しているESG試験の話題が関心を惹きました。

東京都には宝田会長と三木理事が同行、フィンシティを標榜する東京都として東京を今一度アジアにおける金融の中核都市にするための方策の紹介があったのに対し、BoG議長や副議長は、東京都の努力を評価しつつも、自分たちの勤める運用会社が、なぜ東京ではなくシンガポールや香港をAPAC地域のセンターにしているかを説明しました。

午後には、都庁を訪問したメンバーに三井理事も加わって環境省を訪問し、グリーンボンド等、ESGのE(環境)で注力している施策の説明があり、CFA協会の持つリサーチのリソースについての紹介を行いました。

訪問後にアウトリーチのフォローアップとして、ARXと呼ばれるCFA協会(APAC)が運営するネット上の研究交換サイトにあるESG関連の研究論文と当協会会員が投稿した論文の紹介を各機関に行い、その果たしている役割についての認識とCFAブランドについての認知度向上を図りました。

アドボカシー・コミティチェア  
三木隆二郎, CFA

## Topics

# 職業倫理規範の習得のための講義について

当協会では、大学における投資専門家としての職業倫理規範の習得・維持を支援するための出張講義を、先期に引き続き当協会アフィリエイト校(青山学院大学、首都大学東京、一橋大学、早稲田大学)において行っています。

これは CFA 協会が公にしている倫理意思決定の枠組み(Identify-Consider-Act-Reflect framework)の紹介等を目的としており、ケース・スタディを使った投資専門家としての職業倫理規範の習得のための講義です。

2月18日には首都大学東京の大学院経営学研究所ファイナンスプログラムの内山朋規教授の授業においてアドボカシー・コミティのボランティアである山口勝業氏と岡田晃氏による講義を行いました。

以下は岡田氏から寄せられたコメントです：



アフィリエイト校の学生向けに職業倫理規範講義をするにあたりもっとも意識したのは、我々資産運用のプロフェッショナルでも退屈になりがちな倫理講義に対していかに受講生達に興味をもってもらい、その重要性を認識してもらうことができるかを考慮して講義内容を工夫する必

要があるということです。また、首都大学東京の受講生は、ファイナンス専攻の大学院生であることからアカデミックな項目も取り入れる必要があると考え、山口氏と相談しながらマックス・ウェーバーの資本主義と職業倫理に関する考察やアダム・スミス等を講義内容に盛り込みました。講義前半でそれらをカバーした上で、後半は、CFA 協会の倫理規範及び職業行為基準に基づくケース・スタディを受講生達と議論する形式で講義を実施しました。



実際の講義を通して感じた今後の課題は「学生達に議論への参加を如何に促すか」ということです。

講義時間 90 分の内、後半 45 分をケース・スタディの学生達とのインタラクティブな議論にあてました。ケース・スタディは CFA 協会作成の Ethics in Practice の中から職業行為基準をできるだけ網羅しかつ学生でも興味を持ってもらえそうなケースを選択して、事前に担当教授を通して受講生に配布し、各自予習をお願いする形式で臨みました。以前同様の形式で臨んだ講義で外国人学生が多い大学院のケースでは外国人学生を中心に活発に色々な意見が出ていました。しかし、今回は全員日本人学生であったことが影響した

と思われますが、「様子見」の学生が多く議論が思うように進まず、4 ケースのみかつ最後のケースが駆け込みで中途半端に終わり、90 分の授業を若干オーバーする結果となってしまいました。

一つの原因として、前記 CFA 協会のケースは非常に単純化したケースで、情報量が限られていることから、講師陣でも何とも判断できないケースもあることが考えられます。たとえば、追加の情報を講師がアレンジして「こういう情報があったら、どう考えますか？」等、学生とよりインタラクティブに会話し意見を引き出す工夫等が必要であると感じています。

今後どのように学生の意見を引き出せるかをボランティア参加者と議論していきたいと考えています。

ところでアドボカシー・コミティでは CFA 協会(APAC)が行っている ASEAN Ethics Challenge に関する情報を集めています。

昨年からはシンガポール CFA 協会でも始めた取り組みでリサーチ・チャレンジの向こうを張ったエシックス・チャレンジという催しがあります。

日本人学生の能動的参加を引き出す方法の一つの可能性として、今後、金融庁にもヒアリングしてフィージビリティ・スタディを行いたいと思っています。

このエシックス・チャレンジや、従来から行っている職業倫理規範の習得のための講師に、たとえば運用

会社でコンプライアンス・オフィサー  
をしている CFA 資格者でご興味を  
お持ちの方がいらしゃいましたら、事

務局までご連絡をお待ちしておりま  
す。

アドボカシー・コミティチエア  
三木隆二郎, CFA

Topicsでご紹介していますイベントは、その多くの部分がボランティアの皆さまのご協力で運営されています。  
ご興味のある方はお気軽に協会事務局までお声がけください。

✉ [info@cfaj.org](mailto:info@cfaj.org)

当協会ホームページをリニューアルいたしました。ぜひご訪問ください。

<https://www.cfasociety.org/japan/Pages/default.aspx>

コンテンツについてご要望・ご意見などがあれば、協会事務局までご連絡ください。

✉ [info@cfaj.org](mailto:info@cfaj.org)

## Topics

# 設立20周年記念イヤーエンド・パーティを開催

2019年12月13日に、日本CFA協会は設立20周年記念イヤーエンド・パーティを東京會館丸の内本館7階「ロイヤル」の間で開催しました。



当協会の前身である Japan Society for Investment Professionals (JSIP)は1999年に会員数83名で発足し、いまや1200名を超えるまでに発展いたしました。



今回は設立20周年記念を祝してゲストスピーカーとしてゴールドマン・サックス証券株式会社副会長のキャシー松井様にご登壇いただいたほか、CFA協会からアジア太平洋地区マネージングディレクターのニック・ポラード氏および会長諮問委員会地区代表(PCR)のミン・シュー氏が出席しました。多数の会員とCFA受験者や弊協会理事が出席し、日頃より弊協会をご支援いただいておりますスポンサー各社をはじめ、教育セミナーやカンファレン

スの登壇者、その他お世話になっている方々や、金融・投資業界主要企業、関係官庁、業界団体、マスコミの方々を広くお招きして当協会から日頃のご支援への謝意をお伝えするとともに、設立当初の当協会会員および歴代の会長をステージにお招きして20年の歩みを懐かしく振り返るとともに今後の発展にむけて心新たにスタートを切りました。

当日は私どもの想定をはるかに超える250名近い皆さまにご参加いただき、思い思いに、CFA資格者をはじめ金融・投資業界の第一線で活躍するプロフェッショナルの方々と懇親を深めていただけたのではないかと自負しています。



またこのパーティ上で、協会活動をボランティアとしてサポート頂いた会員の方々を各コミッティのボランティア・オブ・ザ・イヤーとして表彰しました。

表彰された会員は次の方々です。(プログラム・コミッティ)加藤幸祐様(ジャパン・インベストメント・カンファレンス・ワーキンググループ)

渥美博行様、池田悟様、チェジナ様、真茅玲生様、Lee Leo様(アドボカシー・コミッティ)  
尾上康浩様(メンバーシップ・コミッティ)  
古谷カルロス様、河野文化様、志村裕久様、岡田竜一郎様、坂西ゆう子様(広報翻訳、テクノロジー・コミッティ)  
浜野秀明様(ユニバーシティ・コミッティ)  
有江慎一郎様、堀大輔様、堀川篤様、笹本和彦様、加藤ただし様、村井紀夫様、中山暢人様

当協会のイベントは、すべて会員の方々のボランティアとしてのサポートで運営されていますが、通常は縁の下の力持ちとして表舞台には出ることはめったにありません。そこで、数少ない機会ですが、長くご貢献いただいている方、あるいは大きなご貢献をいただいた方を毎年のイヤーエンド・パーティで表彰させていただきます。

あらためて皆様のご協力に感謝申し上げます。ボランティアにご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたらどうぞ一度メンバーシップ・コミッティまでお声がけください。お待ちしております。

メンバーシップ・コミッティチエア  
城戸豊和, CFA

# CFIA協会リサーチ・チャレンジ：アジア太平洋地区大会の結果報告 — 一橋大学チーム、史上初のウェブ開催となった地区大会 semifinals で健闘するも敗退 —

2019-2020年のCFIA協会リサーチ・チャレンジのアジア太平洋地区大会は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する不安定な世界情勢の中、当初3月18-19日に予定されていた韓国ソウルでの大会が中止となり、リモート（ビデオ撮影およびオンライン）での開催となりました。アジア太平洋各国から学生が集まる地区大会を楽しみにしていた一橋大学チームの学生にとっては残念な決定となりました。しかし、アジア各国でも問題が大きくなる中、CFIA協会としても参加していただく学生の皆様、大会運営にご協力いただいている皆様の安全を優先した結果の判断となりました。

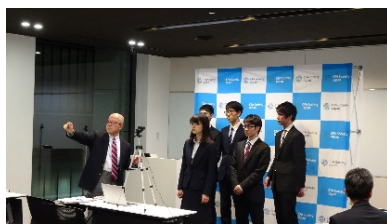
史上初のオンライン大会において、参加26チームが戦ったsemifinalsは、通常の地区大会と同様にランダムにグループ分けが行われ、各グループを勝ち残った5チームがファイナルを戦う形式でした。semifinalsでは、現地大会で提出したリサーチレポートおよび別途ビデオ撮影して提出することとなったプレゼンテーションの合計点での評価となりました。そして、ファイナルでは、オンラインのライブでのプレゼンとQ&Aのみで優勝チームが決定されました。

国内大会を勝ち抜いた一橋大学チーム（指導教官：中野 誠、チームメンバー：杉山 裕規、牧田 悠暉、佐藤 瀬

奈、瀧澤 怜史、田村 鈴音、メンター：平野 太郎）は、Room3のグループとなり、株式会社ニチレイ（以後ニチレイ）の買い推奨のプレゼンテーションで勝負しました。



国内大会から更にプレゼンテーション内容をグレードアップし、特に海外のジャッジにアピール出来るようにニチレイの日本市場での競争力、成長性や財務体質の強さなどを強調して、完成度の高いプレゼンテーションを何度も練習し、semifinalsに臨みました。



日本チームには不運なことと同じグループとなった昨年のグローバル大会の優勝校の Ateneo de Manila University（フィリピン）がファイナルに勝ち進むこととなり、一橋大学チームはファイナル進出を逃しました。各グループを勝ち抜いた5チームで競われたオンライン、ライブでのファイナルが3月19日に開催され、CFIA協会関係者も視聴することが可

能でした。

Ateneo de Manila Universityのプレゼンはニチレイと同じ食品メーカーであるフィリピン企業の国内トップシェアの競争力と成長性の高さ、そしてバリュエーションの割安さをアピールしており、そのストーリー構成や分析内容の深さにアジア太平洋地区大会のレベルの高さが再認識されました。その昨年のグローバル優勝校を破ってアジア太平洋地区大会を制したのはシドニー大学で、豪銀行の売り推奨という興味深いプレゼンテーション、市場での見方との差に焦点を当てた分析やQ&A内容がジャッジの高得点につながったと推察されます。4月にニューヨークで開催予定であったグローバル大会についても、オンラインでの開催が予定されています。

一橋大学チームはプレゼンテーションをビデオ撮影して臨むという初めてのチャレンジに果敢に挑んだものの、日本代表チームの悲願であるアジア太平洋地区大会の制覇は、2020-2021年の国内大会優勝チームに委ねられる結果となりました。

2020-2021年のリサーチ・チャレンジの運営についても、難しい判断と模索の中で進めていくことになるかと考えております。厳しい世界情勢の中にあるからこそ、リサーチ・チャレンジという機会を通じて学ぶ機会と人につながる機会を大事にしていきたいと考えております。今年の運

営についても近々、リモート(オンライン)等で、キックオフとなるかと存じます。ご興味のある方は、リサーチ・チャレンジのコミッティ・ボランティアとして、ぜひご参加ください。ご質問等ありましたら、いつでもお問い合わせください。

11-12月に開催される予定の国内大会については過去同様、オンラインで行うことのできる状況に回復していることを切に願っております。今後とも皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、スポンサー企業として、ボランティアとしてなど、様々

な形でリサーチ・チャレンジを応援賜りたく存じます。

ユニバーシティ・コミッティチエア  
小澤大二, CFA

## CFAJ Update

**活動報告** このコーナーでは、日本 CFA 協会の各分野での活動状況をお知らせしております。

### メンバーシップ

メンバーシップ・コミッティの活動は大きく分けて二つのグループに分けることができます。まず、会員価値の向上策の一環として、ネットワークキングなどのイベントを開催すること、そして、受験者(将来の会員)に向けた受験サポート活動です。

受験サポートについては、2020年6月の試験に備え、CFA試験対策セミナー(オリエンテーション、指定計算機ワークショップ、計量分析、財務分析)、スタディグループ・キックオフ・ミーティングを2020年明けから2月にかけて開催しました。(新型コロナウイルス感染拡大への対応策として、6月に実施予定だったCFA試験の延期が決定しています。)

会員同士のネットワークキング・イベントにつきまちは特集ページをご覧ください。(5ページ)

また、新会員の方々のお名前を併協会ウェブサイトに掲載しました。  
([https://www.cfasociety.org/japan/Pages/New\\_Charterholders.aspx](https://www.cfasociety.org/japan/Pages/New_Charterholders.aspx))

皆様におかれましては1日も早く健康かつ安全な環境が戻りますようくれぐれもご注意くださいお過ごしください。

### プログラム

プログラム・コミッティでは毎月2、3回程度のセミナーを企画・開催しています。11月26日から3月13日までの期間には、以下の通り幅広いテーマでセミナーを実施しました。なお、世界的な新型コロナウイルス感染拡大を受け、今後のセミナーは基本的にオンライン(ウェビナー形式)で開催致します。通常通りの開催に戻す際には、一斉メールやホームページにてお知らせします。

11月26日 Selling Fast and Buying Slow: Heuristic and Trading Performance of Institutional Investors,  
Mr. Rick Di Mascio (Special Advisor to USS)

12月3日 Active bond management, negative interest rates, liquidity, and the myth of macro-

prudential risk management  
Mr. Laird R. Landmann (Group Managing Director, Co-Director Fixed Income, TCW)

12月12日 1. Investment Professional of the Future 2. AI Pioneers in Investment Management: How are they using the latest AI and big data techniques to solve core investment problems?,  
Mr. Larry Cao, CFA (industry research director at CFA Institute APAC Office)

12月19日 グローバルマクロ経済展望、2020年-米中対立から世界経済は新局面へ、世界資金フローと海外視察を踏まえて今後を読むー 佐治信行氏 ニッセイアセットマネジメント株式会社 リサーチフェロー兼上席エコノミスト

2020年1月7日 Key Economic Challenges of Our Times,  
Prof. Nouriel Roubini (Dr. Doom), Professor at New York University's Stern School of Business

1月24日 インデックス業界で存在感を増す「カスタマイズ」

竹内冬美氏, STOXX Ltd. アソシエイト・ディレクター

2月3日 Secure Retirement -

Connecting Financial Theory and Human Behavior,

Dr. Jacques Lussier PhD, CFA, ICD.D

2月6日 ブラックスワンと灰色のサイ~綱渡りする世界株式市況の綱を切るの誰か?

馬淵 治好氏, CFA, ブーケ・ド・フルーレット代表

2月17日 How to Look for Quantum

Advantage: Ideas on Applying

Quantum Algorithms in Finance,

Dr. Mattia Fiorentini, Head of

Artificial Intelligence,

Cambridge Quantum Computing (UK)

3月5日 Green bonds, taxonomies and the coming decade of green

finance, Sean Kidney, CEO, the Climate Bonds Initiative

ご関心のあるテーマのご提案、セミナー講師を務めていただける方のご紹介などを心より歓迎致します。また、その他セミナー等に関連して、ご意見・ご希望等ございましたら、日本CFA協会事務局までご連絡ください。

## インダストリー・アウトリーチ

インダストリー・アウトリーチ・コミッティは、当協会が宝田新会長以下の新体制となったことを契機に、スポンサー各社様との対話、交流を更に進めております。スポンサーの皆様との対話の中で頂戴したフィードバックは、貴重なご意見として今後の協会運

営に活かして参ります。

その他の活動としては、本年2月10日に CFA Institute の Board of Governorsが来日した際、スポンサー各社の代表者の皆様をディナーにお招きしました。こちらは世界各国から来た Board Member とスポンサーの皆様が交流する良い機会となりました。

当コミッティでは、当協会の新たなスポンサーも随時募集しております。スポンサーとなることに興味を持たれた企業様にはスポンサー・プログラムのご説明に伺いますので、是非お声がけいただけますと幸いです。

## アドボカシー/倫理教育

特集記事をご覧ください。

## ユニバーシティ

特集記事をご覧ください。

## テクノロジー

[協会ホームページ](#)を一新し、リリースいたしました。最初はホームページ部分のみのリニューアルですが、コンテンツについても漸次、見直して参ります。コンテンツについてご要望・ご意見などがあれば、事務局までご連絡ください。また、ボランティアとして活動にご参加いただける方を大々的に募集しております。ご興味がある方はぜひこちらも事務局までご連絡ください。

## 広報・出版

広報・出版コミッティでは、CFA資格とその取得の意義、協会のコンテンツ等を、LinkedIn、Twitter、Facebook等のソーシャルメディアも含めて発信し、協会員、受験者、業

界、関係省庁等のより多くの方々に理解していただくための施策について、コミッティ・メンバーやCFA協会本部と協議・検討しています。当コミッティがテクノロジー・コミッティと合同で行う隔月の会議や Chatworkにおける議論では、こうした広報・出版活動の在り方について、幅広い会員の皆様のご参加を呼び掛けており、今後もフレッシュなアイデアを積極的に採用していきたいと考えています。ご興味がある方は協会事務局 ([info@cfaj.org](mailto:info@cfaj.org)) までぜひご連絡ください。

2月にCFA協会本部の理事が来日した際には、CFA協会の Margaret Franklin 会長が、日経CNBCのインタビューに応じ、CFAの役割、CFA協会の使命等について語っています。当日の様子は、[こちら](#)で視聴できますのでご覧ください。3月には同様に、当協会の宝田会長も日経CNBCのインタビューを受けて、CFA資格の内容、その取得の意義等々について、より詳しくお話ししていますので、[こちら](#)でご視聴ください。

また、当コミッティの翻訳グループでは、引き続きCFA協会本部のBlogやその他文献の翻訳をしてご紹介していきますので、翻訳ボランティアにご興味がある方は協会 ([info@cfaj.org](mailto:info@cfaj.org)) までぜひご連絡ください。なお、前号でご紹介した「The Future of Investment Management (Ronald N. Kahn氏著)」の[日本語版](#)の冊子はまだ在庫がございますので、ご希望の方は当協会事務局までお知らせください。

# CFA News & Trend

日本CFA協会・翻訳グループでは、CFA Instituteが発行する刊行物、ブログ等の翻訳をしており、翻訳ボランティアを募集しています。少しでもご興味・ご関心があれば、こちら ([imai@cfaj.org](mailto:imai@cfaj.org)) までお気軽にお問い合わせください。

今回はCFA Instituteのホームページに掲載されているブログの翻訳の一例「No. 463、LIBOR: LIBORに代わる指標金利のほうがよい」を紹介します。その他のブログの翻訳はこちらのリンクをご参照ください。

<https://www.cfasociety.org/japan/Pages/Blog.aspx>

## LIBOR: LIBORに代わる指標金利のほうがよい

### LIBOR: Like I Better Obtain (a) Replacement

[ブリストル・ヴォス](#)

理にかなっているはずなのにまったくナンセンスとしか思えない「ちょっと待って・・・何!？」というような瞬間を味わったことはありますか？私は最近、ある契約書に署名するために目を通して、そのような経験をしました。当該条項には、Liborに連動する数ベースポイントの数値が含まれていました・・・Libor廃止が見込まれる2021年の後ほぼ10年間に渡って。

契約書作成者にLibor廃止後どうなるかと尋ねたところ、答えを持ちあわせ得ないはずのない高給取りの上級管理職のあっけにとられたような眼差しに直面したのです。あなたなら、彼らはその金利に対する回答を持たないことについて恥じたのだと考えるかもしれませんね。

彼らも知ってのとおり、その契約に署名することは、家庭生活を円滑に送るうえで重要であったため、署名したのです。

しかし、何と言ったらいでしょう、不愉快な出来事でした。Liborの代替は何なのか？高給取りの担当者が意見を持ち寄り、言い始めたのが「そうですね、モーゲージは担保付翌日物金利（SOFR）を使うことになると私たちは思います」。私が署名したのはモーゲージではなく、問題の資産は米国内に所在するわけでもなかったため、彼らの話は本当に何の安心材料にもなりませんでした。

こんな回答だったらなと思うのが、「誰も準備できていないので、おそらく2021年にはLiborは廃止されないだろうし、おそらく2024年までは廃止されないだろう」というものです（それでも契約期間の中盤当たりの時期にしか過ぎませんが）。しかし、2021年にLiborが廃止されたならば、契約を短縮するか、それとも終了するか。

契約変更には私の完全同意が必要

とされている点では私は守られています。しかし、そのような偶発条項も、本当の助けにはなりません。新たなベンチマークは何になるのか？それはどのように作用するのか？それは同じ方法でヘッジは可能なのか？誰が責任を持つのか？

私にとって、Liborはまったく新しい意味を帯びることになったなど考えながら、私は打合せの場を後にしました。新しい意味とは、単に「LIBORに代わる指標金利のほうがよい」ということだけでなく、指標代替の時期を知り、代替後の指標を理解し、可及的速やかに知りたいのです。

(翻訳者：荒木 謙一, CFA)

訳文は原文の忠実な和訳に努めたものであり、訳者および所属する組織の見解を表すものではありません。

## 今後の主な予定

4月以降、日本CFA協会が主催する主なセミナー等の予定は以下の通りです。

### 【新型コロナウイルス感染拡大への対応について】

世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大している状況に鑑み、CFA協会において2020年6月のCFA資格試験の延期が決定されています（[リンク先](#)ご参照）。

日本CFA協会では当面の間、人が集まる形式でのイベント開催を見合わせることにしたほか、3月30日より事務局がテレワーク体制に移行いたしました。テレワーク中、電話のお問い合わせにつきましては、平日10時から17時まで、従来の代表番号（03-3517-5471）におかけいただきますと事務局スタッフが対応いたします。事務局オフィスにはおりませんので、直接の訪問はお控えください。ご連絡はなるべく事務局宛でのEメール [info@cfaj.org](mailto:info@cfaj.org) にてお願いいたします。

●5月11日（月）ウェビナー  
タイトル：インパクト投資について考える～リスク・リターン・インパクトの新たな金融パラダイム  
第1回インパクト投資入門編～世界と国内の最新動向  
講師：菅野文美氏（一般財団法人社会変革推進財団（SIIF）事業開発部長）  
時間：18:30-20:00  
参加費：無料

●5月28日（木）ウェビナー  
タイトル：生活者の経済的自立と金融専門家の役割（Economic Independence of Consumers and a Role of Financial Professionals）  
時間：18:30-20:30  
18:30-18:35 開会の挨拶（宝田めぐみ日本CFA協会会長、CFA）  
1) 18:35-19:10 講演1「生活者の経済的自立と金融専門家の役割」（塚崎公義氏、久留米大学商学部教授）  
2) 19:10-19:50 講演2「アドバイザーの役割」（岡本和久氏、みんなのお金のアドバイザー協会（FIWA）理事長、CFA）

3) 19:50-20:30 トークセッション  
「生活者の経済的自立と金融専門家の役割について」  
パネリスト：田村正之氏（日本経済新聞社編集委員）、岩城みずほ氏（オフィスベネフィット代表、CFP）、柴山和久氏（ウエルスナビ株式会社（WealthNavi Inc.）代表取締役CEO）、塚崎公義氏（久留米大学商学部教授）  
モデレーター：岩城みずほ氏（オフィスベネフィット代表、CFP）  
参加費：無料

## 事務局より

---

ご縁があり1月に共同事務局長として事務局に入りました平中と申します。2020年は8年ぶりとなるCFA協会理事会の東京開催（2ページ参照）、新型コロナウイルス対応などが続き、まだ右も左も分からない中であっという間に過ぎていった3ヵ月でした。

さて、事務局に入る以前、私はボランティアとしてCFA Institute Research Challengeにグレーダーとして参加しておりました。同Challengeはグレーダーの他、メンターや運営チームなど大勢のボランティアの精力的な活動によって支え

られていますが、この3ヵ月で協会には他にも数多くのボランティア活動があると知りました。受験講座の講師、大学への倫理出張講義、翻訳、Book Clubそして年1回の大イベントJapan Investment Conference等々。それぞれ有志の皆様のご尽力により成り立っていますが、このようにたくさんのイベントへの参加機会が得られるのは日本CFA協会の大きな魅力だと思います。

若い方からのお電話でボランティアの話を差し上げると、自身の得意な分野・興味のある分野でぜひ参加したいというお声を多くいただきま

す。足下、新型コロナウイルス感染拡大の影響で見合わせとなるイベントが増えている状況にはありますが、数ヵ月かけて準備を進める長丁場のイベントもあればイベント以外の活動もあります。ボランティアは様々なフィールドで活躍するプロフェッショナルの方々とのつながりを持てる良い機会であり、多くの皆様にご参加いただき、当協会の活動を盛り上げていただければと思います。

共同事務局長 平中良和

[報道に関するお問い合わせ先] 日本CFA協会 事務局  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-7  
大手町フィナンシャルシティ サウスタワー5階  
Tel 03-3517-5471 / Fax 03-3517-5472  
E-mail : info@cfaj.org  
Website: <http://www.cfasociety.org/japan>